



三河商人道

PART
102

株式会社 渡辺米穀店
取締役 渡邊 正明 君

お店に入ると、ふんわりと米ぬかのいい香りがする、株式会社渡辺米穀店にお邪魔しました。店内には、おすすめのお米と、お客様からの注文にすぐ対応できるように精米機が有り、地元に着した温かい雰囲気がありました。

大正3年に創業され、奥様のお父様から引き継ぎ、渡邊正明さんで4代目になります。以前は多くのお米屋さんか軒を並べていたそうですが、規制緩和でお米の自由化により、現在矢作地区のお米屋さんは、渡辺米穀店さんを含め3軒だけだそうです。

いつもは午前中に配達を行い、午後はお店でお客様の対応や、仕入れるお米の打ち合わせをされていますが、売り上げアップの準備も怠りません。毎月奥様自作の配布チラシ「こんにちは (株)渡辺米穀店です」を発行されています。お米にまつわる情報や、季節の話題をおり交ぜ、おいしいお米、こだわりのお米を紹介されています。お客様の割合を業務用から消費者に移す方法として、3年前から始められました。当時のご夫婦で各戸に一枚ずつ配られ、地元のお客様が増えたそうです。

青年部は1996年1月に入会。1998年には総務委員長として、10周年の記念式典を担当されました。初めてのことばかりで、とにかく大変だったが一番思い出も多く、墓目によるオープニング、ヘアメイクショーなど、今でも鮮明に覚えてみえました。また、当時副委員長の市川洋太郎さんから「お役が人をつくる」と言われ、その言葉が今でも忘れられないそうです。2007年は副会長として総務・交流委員会を担当、また青経連に常任理事として出向されました。青年部を通じて、多くの方と出会い、話すことができ友人が沢山出来たそうです。若い会員には「気楽に楽しく、そして自分をさらけ出して青年部活動をしてほしい」と。また、傍らに見えた奥様から、「最近は家族例会が少なく、以前のホタル観賞や茶摘み会は楽しかったわ。」と、青年部の思い出をお話くださいました。

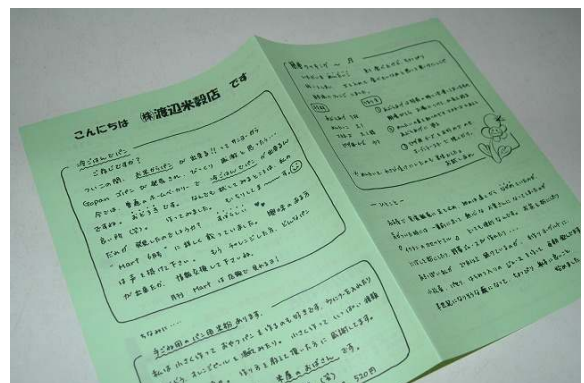
渡邊さんにこの先は？と尋ねると、「何も考えていないから」と口にされながらも、損得なく隠し事なく話される中から、常に自分に正直でありたい。ひいてはその思いと姿勢が、地域の人々の食と安全を守り、家族を守る。そしてお店の信頼に繋がっていると感じました。



「お役が人を作る」が忘れられない



店主おすすめのおいしいお米たち



奥さまの手作りのチラシ（お米情報満載）
毎月発行 第29号のチラシ

取材：白濱・矢野・佐藤・蜂須賀・大井・野々山